

「立ち上がる農山漁村」選定案概要書

取組分野：【バイオマス・リサイクル】

1. 都道府県、市町村 佐賀県伊万里市
2. 事業者名 NPO法人 伊万里はちがめプラン
3. 取組みの名称 「生ゴミを宝に！」食資源環境と地域の活性化を目指して
4. 取組概要等

概要

平成4年、生ゴミを含む可燃ごみを税金で焼却するのは“もったいない”と気がついた伊万里料飲店組合のメンバーが中心となって「生ごみ資源化研究会」を発足。平成9年に市民グループを加え「生ごみ堆肥化実行委員会」を結成、名称を「伊万里はちがめプラン」とした。平成10年には生ごみに対して活発に反応する、優良発酵菌の培養に成功し、平成12年に生ごみ堆肥化実験プラントを完成、微生物による本格的な実証実験を開始。平成13年に伊万里市民と農業者とで、伊万里菜の花エコプロジェクトを結成（菜種搾油機と廃食油ディーゼル燃料装置を設置）し、以下のような事業を実施している。

- ・生ごみの堆肥化事業：最初3軒の事業所から始まった生ごみ堆肥化活動も、今は60事業所、市民グループ25ヶ所200世帯の参加によって、1日1.7トンの生ごみを回収、100日かけ良質な堆肥700kgを生産している。佐賀大学農学部染谷孝助教授による微生物の指導、堆肥の分析、農場での栽培実証実験済なので堆肥利用者に好評である。
- ・菜の花プロジェクト事業：「はちがめ堆肥」を田畑に施し、小中高生や市民ボランティアの協力によって菜の花を栽培する。生産された菜種油を飲食店や市民に提供、使用後の廃食油は回収し、BDFの生産、クリーンなバイオマス燃料として活用している。毎年菜の花まつりを開催し啓発運動を行うことで、各地からの菜種搾油依頼があるなど活動の環が広がっている。
- ・伊万里『環の里』計画：環境保全活動の環を広げる目的で「伊万里『環の里』計画」の活動を続けている。この活動を昨年、タイ環境教育ワークショップで発表、主催者の国際協力銀行に認められ、今年度は佐賀大学の協力を受け、生ごみ堆肥化の技術指導と、ネットワークづくりに対する支援を、タイ王国のウボンとクラビの2県で行なっている。
- ・佐賀大学との連携：佐賀大学の協力を得て、教材作製やプレゼンテーションの効果が向上、小中高での総合環境学習、環境フォーラムなどに大学の先生の参加もある。市民や子供達の信頼を得ることができ、伊万里の環境教育の環が広がると共に、資源循環の活動が推進されている。

活動の規模

項目	H12	H13	H14	H15	H16
生産量	6.4t	102.2t	153.3t	179t	192t
解説	生ゴミ堆肥				
生ゴミ回収量	18.3t	292t	438t	511.4t	542.9t
解説					
売り上げ	2,144	3,613	4,376	6,263	10,337
解説	生ごみ回収協力金、BDF、堆肥、農産物直売所、雑収入（千円）				
イベント	2(150)	3(200)	6(500)	8(2,000)	11(2,200)
解説	(回) (イベント参加者数)				

#### 活用している地域資源

- ・地域の課題であるごみ減量を目的に生ごみを分別回収、微生物によって有機堆肥を生産、篤農家による環境保全型農業を推進している。
- ・生ごみ堆肥を活用し休耕田に菜の花を咲かせ里地里山の復活による景観の美化を図り、菜の花祭りなどイベントに活用、菜種油を搾油し安心安全な「国産菜種油」を生産し、市民に提供している。
- ・廃食油は回収し廃食油ディーゼル燃料を生産、クリーンなバイオマス燃料として自動車に活用している。

#### 地域活性化のポイント

はちがめプランの活動は、生ごみの堆肥化・廃食油の燃料化などの事業にとどまらず、それを核として地域社会の様々な分野に係り合いを持ちつつ、課題である環境保全という問題を通して、人と人との新たな交流を育み、自立的な循環型の地域を構築することによって、豊かな伊万里を生み出すとするものである。事実、この事業の進展に伴い、生ごみや廃食油を排出する事業者や、堆肥を利用する農業者のみならず、地域住民の「環」が確実な広がりを見せている。市民による「生ごみステーション」の設置、各種市民団体による「伊万里『環の里』計画」、佐賀大学の地域貢献事業「はちがめエココミねっと」、市民と農業者による「伊万里菜の花プロジェクト」、それを支援する高齢者グループによる「いまり菜の花の会」、地元農業者による「今岳菜の花の会」、などが誕生し、新たに、佐賀大学の「サテライト教室」の設置やタイ王国への生ごみ堆肥化指導などの活動も始まっている。

#### 事業の今後の展開方向

- イ) 国際協力銀行が主催するタイ王国の環境活動ネットワークの構築と生ごみ堆肥化事業を軸にした環境まちづくりの、日本の経験の応用に関する調査事業にNPO法人元気ネット、佐賀大学、伊万里はちがめプランが協働して参加している、この事業を成功させ来年のモデル事業実施へ繋げる。
- ロ) 平成17年度は、佐賀大学の新たな事業として地域創生学生参画教育プログラムが文科省に認められた。これは、伊万里はちがめプランの事業活動を支援し、佐賀大学のキャンパスの延長「サテライト教室」として活用し、環境体験型大学教育として注目されている。同大学農学部との共同研究で、生ごみや家畜糞尿を含む有機性廃棄物の資源開発、資源作物の栽培実験などを実施する。有機堆肥、BDF、バイオガスなど自然エネルギーを効率的に生産する基盤技術確立し、「バイオマスタウン構想」へ発展させる。
- ハ) 菜の花栽培を普及させ、今年中に佐賀菜の花ネットワークを組織化させ、平成18年度に九州菜の花ネットワークを構築し、生ごみ堆肥化(環境保全と有機農業の推進)と菜の花プロジェクト(コミュニティ復活とCO2削減)活動を九州全体に普及啓発を行う中で、食資源循環によって地域の活性化に繋げる。



< 生ゴミステーション >



< 菜の花まつり >